

「市長への手紙」HP掲載データ（令和7年3月分）

見出し	0703-01 巽山公園の枝伐採について
ご意見	巽山公園の桜の木の根元から生えている長さ 70～80 cmの枝が無数に生えている木がある。子どもの顔の高さにあり非常に危険だと思う。公園の枝の管理を願いたい。
回答	<p>公園内の桜などの枝については、地元団体の協力のもと、毎年春先に剪定作業を行っております。また、危険又は公園の利用に支障があると判断される枝等については、随時、指定管理者と連携し対応しているところであります。</p> <p>ご提言を受け公園内を確認したところ、剪定後に伸びたと思われる枝が散見されましたので、危険性がある箇所については随時対応してまいります。</p>
担当課	道路河川維持課 電話：0194-52-2151

「市長への手紙」HP掲載データ（令和7年3月分）

見出し	0703-02 県立久慈病院の機能維持について
ご意見	<p>市民公開健康講演会には、高齢者を中心にほぼ満席で、県立病院の機能縮小への不安の大きさがうかがえた。今後、久慈病院で対応できない場合は八戸の病院に搬送されるそうだが、冬季の積雪時には搬送に時間がかかることが懸念される。命の危険が増すことに強い不安を感じており、市民の命を守るための対応を求めたい。</p>
回答	<p>県立久慈病院は久慈医療圏の中核病院であり、医療体制の充実は重要な課題であると認識をいたしております。</p> <p>当市といたしましては、これまでも岩手県に対する重点事項要望において「久慈病院の医療体制の充実・強化について」要望を行っているほか、岩手医科大学との意見交換においても、当地域の医療現状を訴えながら働きかけを行っております。</p> <p>今般の県立久慈病院における機能縮小ではありますが、効率的な経営計画のほかに、全県的な医師不足問題が根幹にあり、高度医療等を継続するための人材が不足しているため、盛岡市の県立中央病院に機能集約せざるを得ない状況であると県立久慈病院から伺っているところであります。</p> <p>また、令和5年4月より、脳卒中の救急患者を八戸赤十字病院及び八戸市立市民病院で受入れをいただいておりますが、より救命率の高い治療を受けられるよう人命最優先のための、県境を越えた連携協力であると県立久慈病院から伺っているところであります。</p> <p>これらのことから、早期実現は難しい状況ではありますが、今後におきましても地域住民が必要とする医療を地元で受けられるよう、県立久慈病院の医療体制の充実・強化の実現に向けて、関係機関等への要望活動を引続き粘り強く取組んでまいります。</p>
担当課	保健推進課 電話：0194-61-3315

「市長への手紙」HP掲載データ（令和7年3月分）

見出し	0703-03 久慈市の交通体系について
ご意見	<p>富山県朝日町では、「地域による地域のためのマイカー交通（ノッカルあさひまち）」が、既存の路線バスやコミュニティバス、タクシーなどと共存しながら、持続可能な交通のあり方を模索している。市でリクエスト型最適経路バスを実施したと聞き、参考になるかと思い投稿させていただく。</p>
回答	<p>この度は、貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>当市では、久慈市地域公共交通計画で課題とされている、「市街地での回遊性が良くない」ことや「高齢者や中高生などの公共交通利用者が少ない」ことへの対応策として、令和6年12月2日～令和7年1月31日の2カ月間、電話やスマートフォンで呼べるオンデマンド型の乗合バスの実証運行を、市内の一部で実施いたしました。2カ月間の実証運行では、1日平均約34人の方が利用し、同期間での市民バス8路線の平均乗車人数を上回る利用がありました。</p> <p>久慈市地域公共交通計画では、現在の公共交通体系において、バスの運行経路やダイヤの見直しなどの効率化により、公共交通ネットワークの利便性向上を図っていくこととしております。</p> <p>ご紹介いただいた「ノッカルあさひまち」は、地域住民の方による助け合いで実施する乗合サービスと認識しております。</p> <p>現在、当市ではこのような制度を設けておりませんが、市内の公共交通ネットワークの状況や地域を取り巻く実情など、様々な観点から持続可能な公共交通のあり方について研究してまいります。</p>
担当課	地域づくり振興課 電話：0194-52-2116

「市長への手紙」HP掲載データ（令和7年3月分）

見出し	0703-04 外国人の人口に関する情報を広報等に記載してはどうか。
ご意見	<p>久慈市の人口は31,110人（R7.2.28現在）とされているが、近年、外国人労働者の姿が目立つようになってきている産業や介護分野で重要な役割を担っており、今後も無視できない存在となる可能性がある。外国人との婚姻や子どもの誕生も増えており、行政として関わる機会が増えることが予想される。広報などに外国人の性別や人数を補足的に記載してはどうか。</p>
回答	<p>人口減少問題は、日本全国、特に地方自治体において深刻な課題となっており、当市においても例外ではありません。地域経済を支えるためには、働き手の確保が急務となっており、行政として最重要課題の一つとして、「久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、安定した雇用の創出、結婚・出産・子育てへの支援、久慈市への人の流れづくり、災害からの復興と安心・安全なまちづくりに取り組んでいるところです。</p> <p>ご提案いただきました「外国人労働者の人口に関する情報を広報等に記載してはどうか」という点につきましては、現在、市のホームページで、住民基本台帳に基づく人口と世帯の情報を毎月更新し、行政区ごとの男女別人口や外国人の内訳を掲載しております。また、広報くじ1日号に掲載している人口にも、外国人を含めた人数を掲載しております。</p> <p>外国人のより詳細な内訳を広報へ記載することについては、掲載できる情報量に限りがあるため、今後の広報内容の見直しの中で検討していきたいと考えております。</p>
担当課	地域づくり振興課 電話：0194-52-2116

「市長への手紙」HP掲載データ（令和7年3月分）

見出し	0703-05 萩が丘住宅敷地内の樹木
ご意見	市営萩ヶ丘地区住宅内に存する高さ10m以上の杉の木について、強風時に倒木の被害が発生する可能性があることから、早期の安全対策として伐採をお願いしたい。
回答	ご提言いただきました杉の木についてですが、伸びた枝が電線に掛かっていること、倒木した場合には、住宅への被害が生じる可能性があることを現地で確認しております。また、数年前には別の場所において、倒木があったとのことから、当該大木および市営萩ヶ丘地区住宅内の樹木につきまして、今後、伐採を含めた検討を行い、適切な維持管理に取り組んでまいります。
担当課	建設企画課 電話：0194-52-2116